

## 「平成 30 年度 給食研究会」報告書

- 【期 日】平成 30 年 6 月 6 日（水）  
【会 場】ロイヤルチェスター佐賀  
【主 催】佐賀県保育会  
【参加者数】159 名



### 【内 容】

研修 1 10 : 05 ~ 10 : 25

「基調報告」：指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

研修 2-① 10 : 35 ~ 11 : 40

「平成 30 年度給食研究発表」

〔発表者〕伊万里地区（伊万里市立大川保育園）  
佐賀地区（保育園ひなた村自然塾）  
鳥栖地区（やよいが丘保育園）

研修 2-② 11 : 45 ~ 12 : 20

「講評」

講師：澤野 香代子 氏（元西九州大学教授）

研修 3 13 : 30 ~ 16 : 10

「食で育む子どもの未来～保育所から地域へ～」

講師：澤野 香代子 氏（元西九州大学教授）

### 研修 1 「基調報告」

講師：指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

- ① 子ども・子育て支援制度  
市町村主体の子育て支援と国主体の仕事と子育て両立支援が連動していない
- ② 待機児童の状況  
要因のひとつに女性の就業率の上昇がある
- ③ 保育士不足  
平成 30 年 1 月の保育士の有効求人倍率は 3.38 倍
- ④ 保育所保育指針の改定  
第 3 章「健康及び安全」2.食育の推進
- ⑤ 幼児教育・保育の無償化  
2019 年 10 月から完全実施



## 研修 2-① 「平成 30 年度給食研究発表」

伊万里地区（伊万里市立大川保育園） 調理師 樋渡 千恵

◎テーマ「クッキングやかるた遊びで触れ合った1年」

クッキングは、4月に年長児担任と季節を感じるメニューを話し合い、3月までの計画をたて「伊万里の特産物を使用したクッキング準備・実施表」を作成し実施。また、伊万里市給食委員会で作成した「食育かるた」でかるた遊びを行い、沢山の食材の名前を知ることができた。



佐賀地区（保育園ひなた村自然塾） 栄養士 坂井 沙織

◎テーマ「ひなた村の収穫祭をとおした食育について」

命を見守り、命を感じて、命を育てる保育を保育方針とし、1年を通して野菜や果物の収穫やクッキングをしている。米を育て収穫祭をするという活動を通して、栽培から食べるまでの手間や、食べることの幸福感、命への感謝、達成感や楽しみなどを伝えられた。



鳥栖地区（やよいが丘保育園） 栄養士 江口 真実

◎テーマ「子どもたちに伝えたい「食」の大切さ」

4、5歳児対象としたクッキングを年間通じて行うことで、保育士と栄養士が連携し「作る楽しさ」や「食べる事の大切さ」を伝えるよう取り組んでいる。活動を通し、偏食をしていた子どもたちが完食できるようになったり、食への関心や意識の変化がみられるようになった。



## 研修 2-② 「講評」

講師：澤野 香代子 氏（元西九州大学教授）

- ① 園の方針にマッチした食育活動か？—どのような子どもを目指すのか？
- ② 園の持つ資源を活かした取組か？—独自性のある取組ができる。取組やすい
- ③ 取組を記録に残す（ワークシート化）—見える化、数量化
- ④ 取組のスタイル—総花的または単一的 一時的または継続的
- ⑤ 効果的な教材等の開発—担当だけではなく、組織体で考える



## 研修 3 「食で育む子どもの未来～保育所から地域へ～」

講師：澤野 香代子 氏（元西九州大学教授）

◎減塩をテーマとして

- ・ 塩、糖、脂→健康長寿のための食生活の課題
- ・ 今なぜ減塩…減塩の取組は、生涯食育活動の原点。  
食塩の目標量・1～5歳 1日 3.0g 未満。一食 1.0g 未満
  - ・ 15歳以上（男性） 1日 8.0g 未満 一食 2.6g 未満
  - ・ 15歳以上（女性） 1日 7.0g 未満 一食 2.3g 未満
- 幼少時の過剰な食塩接種は高血圧、腎機能障害の原因になりうる
- 企業は減塩をビジネスチャンスに。学校は減塩を取り入れ。行政は減塩を推進
- ・ 減塩アクション
  - ① 1食の食塩量を知る—主食、主菜、副菜のバランス
  - ② 食材のおいしさがわかる—味覚力、うまみ、だしの活用
  - ③ 調味料の食塩量を知る
  - ④ 料理ごとに調味料を配分する
  - ⑤ 栄養表示で食塩量を知る—2020年までにナトリウム→食塩相当量に変更
- ・ 塩を意識して食育を一命の育ちを食の面から支援

◎食育プログラム企画書の作成

- ・食育指導案
- ・食育到達度シート
- ・実施報告書

◎グループワーク

食育プログラム企画書を実際に作成し、発表



(報告)

生涯食育、生涯健康を意識して、保育所からネットを広げ地域や他職種と連携をしていくことが今後の課題である。また、園での食育活動においては、企画書、指導案の作成から、結果の数量化して出すことまでを、ひとつの取組として行うことの重要性を学んだ。

(文責：楠久保育園 西 流衣子)